

RECOMMEND 01

永野 隆行 (交流文化学
科教授) 監修
「一冊でわかるオース
トラリア史」

河出書房新社
2025年8月
本体1800円(税別)



RECOMMEND 02

新井 孝重 (名誉教授)
監訳、(葛 兆光 著)
「形似神異」
中日伝統政治文化の系譜」

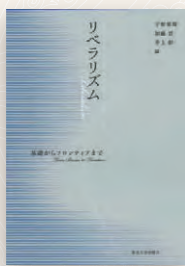
志学社
2025年8月
本体4000円(税別)



RECOMMEND 03

網谷 杜介 (法学学科准
教授) 分担執筆
「リベラリズム 基礎から
フロンティアまで」

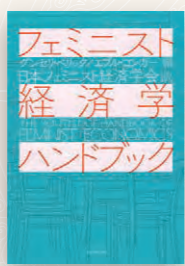
東京大学出版会
2026年1月
本体2900円(税別)



RECOMMEND 04

大野 恵理
(交流文化学学科准教授)
共訳
「フェミニスト
経済学ハンドブック」

法政大学出版局
2026年2月
本体9000円(税別)



RECOMMEND 05

大谷 基道 (総合政策学科
教授) 分担執筆
「なぜ女性公務員の管理職は
少ないのか—大規模調査で
みる自治体の課題—」

勁草書房
2026年2月
本体4800円(税別)



RECOMMEND 06

野崎 亜紀子
(総合政策学学科教授)
分担執筆
「法哲学事典」

丸善出版
2026年2月
本体25000円(税別)



RECOMMEND 07

松本 健太郎 (英語学学科教授)、
須永 和博 (交流文化学学科教授)、
鈴木 涼太郎 (交流文化学学科教授) 分担執筆
「現代世界を読み解く
観光人類学のススメ」

ナカニシヤ出版
2026年3月
本体2200円(税別)



RECOMMEND 08

齋藤 由佳
(フランス語学学科専任講師)
分担執筆
「フランス語圏を
知るための61章」

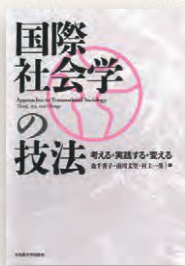
明石書店
2026年3月
本体2400円(税別)



RECOMMEND 09

大野 恵理 (交流文化学
科准教授) 分担執筆
「国際社会学の技法
—考える・実践する・変
える—」

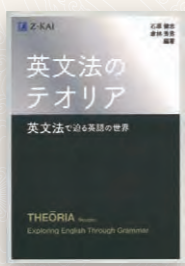
名古屋大学出版会
2026年3月
本体2700円(税別)



RECOMMEND 10

倉林 秀男 (交流文化学
科非常勤講師) 共編著
「英文法のテオリア
英文法で迫る英語の世界」

Z会
2026年3月
本体2700円(税別)



RECOMMEND 11

加藤 一彦 (国際関係学
学科非常勤講師)
共編著
「新憲法判例特選
(第4版)」

敬文堂
2026年3月
本体3500円(税別)



RECOMMEND 12

岡崎 龍 (ドイツ語学科
専任講師) 共訳、(クラ
ウス・フィーヴェーク 著)
「自由の思惟
ヘーゲルの「法哲学要綱」」

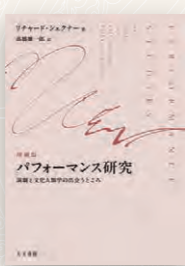
法政大学出版局
2026年4月
本体10000円(税別)



RECOMMEND 13

高橋 雄一郎 (交流文化
学学科教授) 訳、(リチャ
ード・シェクナー 著)
「増補版 パフォーマンス研究
演劇と文化人類学の出会い」

人文書院
2026年4月
本体5500円(税別)



RECOMMEND 14

徳永 潤二 (経済学学科教
授) 著
「Dollar Dominance
Fundamentals, Nature, and Present
Structure」

Routledge 2026年4月
£55.99



RECOMMEND 15

宗田 貴行 (国際関係学
学科教授) 共著
「新レクチャー消費法」

法律文化社
2026年4月
本体3000円(税別)



RECOMMEND 16

岡部 康弘
(名誉教授) 著
「役割のあと
何で生きるか」

幻冬舎
2026年5月
1320円(税込)
※電子書籍



RECOMMEND 17

星野 昭吉 (名誉教授) 著
「「戦争を防ぐには戦争
に備えよ」神話とは何か
—「戦争と平和」問題の
理論と現実—」

テイハン
2026年5月
本体3900円(税別)



DOKKYO SDGs

Sustainable Development Goals

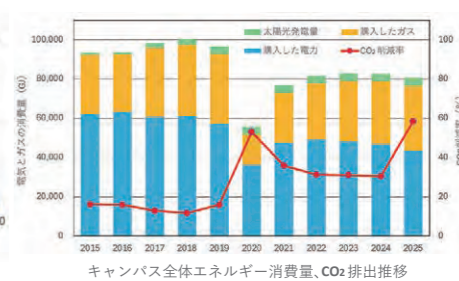
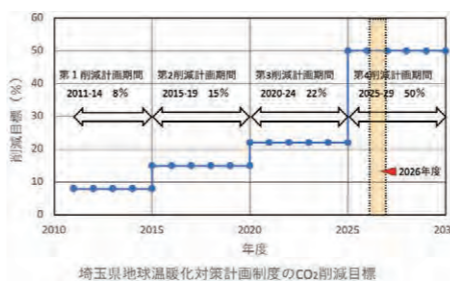


条例の削減目標を越える削減率となりました。ただし、購入した電力とガスの使用量は2024年度をわずかに下回る程度でした(2024年度は30%以上の削減率で、第3削減計画期間の目標を大きく上回る削減率)。省エネ対策のみでの目標達成は難しいと判断し、2025年度から使用電力のうち60%をグリーン電力(化石燃料不使用での発電電力:CO₂発生量0)で購入し、目標の50%以上の削減を実現することとした。なお、日本の地球温暖化対策計画によると、2050年度のカーボンニュートラル(ネットゼロ)に向け、2035年度に60%、2040年度に73%の削減目標となり、今後、益々達成が難しい状況下となり、更なる努力が必要です。

獨協大学におけるSDGsの目標達成に向けての省CO₂対策

埼玉県には埼玉県地球温暖化対策推進条例があり、獨協大学もこの条例に基づき、CO₂排出量の削減義務が課せられています。獨協大学はSDGsの観点から、省エネルギー推進に関する専門部会を中心として、この目標の達成を目指しています。現在はその第4削減計画期間(2025年度~2029年度)に相当し、期間平均50%の削減目標に向けて、省エネ・省CO₂の努力を続けています。

2025年度(単年度)の獨協大学キャンパスにおけるCO₂削減率は58.4%で、同



ぶ-ら-り-ら-い-ぶ-ら-り

Vol.119

図書館でレポート作成!

学期末に近づき、そろそろレポートの課題が出される頃ですね。「初めてレポートを書く!」という方は、レポートを書くステップとポイントを確認しておきましょう。図書館は皆さんのレポート作成を応援しています!!

Step 1 テーマを決める

何について論じるのか、出題されたテーマを確認します。

Step 2 事前調査

テーマの基本概念や背景を把握します。入門書を読んだり、辞書・百科事典のデータベース JapanKnowledge Libを使いましょう。

Step 3 構成を考える

事前調査が済んだら、レポートの構成を考えます。序論・本論・結論を意識してアウトラインを作成しましょう。



他人の意見を「引用」する際は、必要な部分のみを引用する、出典を明記するなどのルールを守ろう。

Step 4 文献の調査・入手・読解

構成が決まったら、集めたキーワードなどを使って、主張を裏付ける根拠資料を探します。

Step 5 本文の執筆

構成に沿って、調べた資料やデータを用いながら、自分の意見を書きます。

レポート作成に迷ったり困ったりしたら...
レファレンスカウンターに相談!



図書館のスタッフがサポートします!



獨協大学図書館

現図書館開館20周年
リニューアルについて

「知」にふれ
「知」をはぐくむ
場所をつくる

獨協大学図書館は、
「大学は学問を通じての人間形成の場である」
という建学の理念のもと、
新たな「知」を育む場所として、
再び新しく生まれ変わります。

2026年夏と2027年春に改修工事を行い、現図書館開館20周年を迎える2027年度の4月にリニューアルオープンする予定です。工事中は、一部の設備が利用できないなどご不便をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

▲詳細はこちら